

ミサイルを見て、本当に飛んでたなんて信じられないと思った。

遺品館では、どんな若い人が戦争で亡くなったか、どんな人がどこで亡くなったか、よく分かりました。

資料センターでは、戦争で使われた兵器や、戦争の当時の様子がよく分かりました。

普通に生きていたたくさんの人々が、苦しい思いや悲しい思いをしながら、死んでしまったことを知り、戦争は怖いと思いました。

お父さんから、日本は、戦争の惨禍を再び起こさないように誓った国だと教えてもらいました。

日本は、どんな国とも平和な関係を続けて、戦争が絶対にない国であってほしいと思いました。

ぼくは、いっぱい戦争の道具を見たから、戦争にお金をいっぱいかけているのかなと思いました。だから、平和のためにお金をかけたほうがいいと思います。

私は、昔からずっと平和だと思っていたけれど、遺品館と平和資料センターへ行って、戦争で多くの人が亡くなったことや 15 歳や 46 歳の人でも戦争へ行くということが分かりました。日本が戦争をしなくなった理由、それは悲しい思いをしたたくさんの人たちが、楽しく平和に毎日を過ごしたいという強い気持ちを持ったからだと思いました。

わたしは、すごくせんそうがこわいです。多くの人びとが、なくなり、町も火事になってお家がこわされていき、住むばしょがなくなりました。いま、せんそうがあつたらわたしの家もほかの人たちのお家やいのちがなくなります。

遺品館では、赤紙が、時刻まで書いてあつたので、思ったよりも複雑だと思いました。思っていたよりも若い人たちが戦争に行っていてびっくりしました。平和はとっても大切なことなんだな、とよくわかりました。

ぼくだんがあんなにいりよくが強く、ぼくだんの中にもっといっぱいぼくだんが入っていたのをしておどろきました。ぼくがせんそうのじだいに生きていたら、にげきれなかったかもしれなかったです。せんそうに行つてなくなった人がこんなにおおくて、せんそうは悲しくてこわいものだと知りました。ぜったいせんそうをおこしたくない。

私は戦争でたくさんの方が苦しんだ事を知りました。

遺品館では、亡くなったたくさんの方の写真を見て驚きました。15 歳の方も戦争に行くなんて…胸が張りさけそうになりました。

戦争は、命だけでなく心もうばうと感じました。戦争は絶対に起こしたくないです。

僕は今日戦争のことについて調べて、戦争はやっぱりダメだと思いました。

1 番若くて死んだ人は 16 才で、その人は無駄死にだと思いました。

固いヘルメットに銃弾が貫通していたのを見た時は戦争は怖いと思いました。

お父さんの話によると、ある人は自分で爆弾をつんで自分から飛行機でつっこんだそうです。僕はその人は日本人が死んでこいと言っているようなもので、不公平だと思いました。

2 度と戦争は起こして欲しくないです。

こんなに戦争で亡くなった人がたくさんいると知ってびっくりしました。15 歳で亡くなった人もいて、とても辛い気持ちになりました。戦争は起こしてはいけないと、強く思いました。

私は、戦争は絶対起こしてはいけないと思いました。

なぜなら戦争で、たくさんの方が命が奪われたからです。まだ若い人たちや、子供がいたのに戦争で全てが奪われてとても悲しいです。

ぼくは、戦争は何もうまれないとても悲しい事だと思いました。中学生は工場ではたらき、成人でなくても軍に入り死んでしまうかもしれない。そんな不公平な世の中には二度となってほしくないと思いました。これからも、戦争が二度とおこらないようにぼくたちで平和を守りたいです。

もしぼくがせんそうのあった時代に生まれていたら…きっとすぐに死んでしまったかもしれないから平和な時代に生まれてよかったです。いっぱいの方がなくなって、もう二度とせんそうがおきてほしくないと思いました。

これからせんそうがないことをねがいます。もしせんそうがおきたら、だいすきなチョコレートが食べられなくなるからです。